



土練り、親切に指導する成田吉光先生

## 生きがいみつけた

陶芸教室・11月には作品展

老人生きがいセンターでは、毎週土曜日、陶芸教室を開き、お年寄りたちは熱心到手ほどきを受けています。

「モノ」をつくる喜びを味わい、いま静かな陶芸ブームが沸き起っています。

本年四月二日に開講した陶芸教室は、お年寄りの生きがい対策の一環としてはじまりましたが、お互いの親睦と

講師には、弘前市の成田吉光先生を招き、土曜日は研修室が受講者であふれてしまいう……仲よく、一生けんめい取り組ましますので、上達も

早く、技術的にも素晴らしいという成田さん。

この日も、九回目の「お年寄り」をしたあと、「土練りは、よい器をつくるための基本です。疲れる仕事ですから、高血圧の人は休むように」と心づかいをしながら、一人一人に土練りの指導をしています。

陶芸教室は、これからも毎週土曜日に開きますが、お年寄りたちは「自慢の作品を持ち寄り、十一月上旬に作品展示会を開くことになっています。



「本焼」を上げられた作品に満足感がたまたよう！



「生きがい、この作品にはどんな色がいいかなァ……語らいのひとつき

### 今月の主な記事

あなたと語る 村政懇話会……12～11
金木高校相内分校……12～13
30周年記念式典……14
市町村長表彰交付……15
ふるさと芸術祭……16～17
交通安全駅伝大会……18
広域連歩……18
話しなせ……43
后編……44

# みんなで語り みんなで創ろうわれらのまちを



活発に意見交換された村政懇談会

あなたと語る

## 村政懇談会

あなたと語る村政懇談会は九月五日、コミュニティセンターに教育、民生関係者ら四十人が出席して開かれました。村政懇談会は、村長との対話を計画的に進め、村政全般

## 反映させたいあなたの声を

役場という一つの行政組織は、役場職員のためのものではなく、一部の住民のためのものでもありません。

住民と地域全体の安全と健康、福祉など、人間の幸せを求めて、少ない予算で大きな効果を上げていくという、大

なで創ろう、われらのまちを」と定めています。

また、懇談会開催の形態は村議会の常任委員会単位に分け、「教育、民生」、産業経済、建設土木、「総務企画」の三回にわたって開催するもので、それぞれの問題、課題について、じっくり語りあっていたで、じっくり語りあっています。

きな使命を持っています。

しかし、実際事業を起こし行政を進めていく課程の中では、それぞれ住民の間にも住民意識の違いや価値感の違い、村が求めようとするものと住民との間のいろいろなもの考え方が違っていることも事実であります。

こういう考え方をわたがいの立場で尊重しあいながら一つの目標を求めていくことが会議開催の目的です。

望ましい村政とは何か、あるべき村政は何かを頭におきながら、国や県、村がやらなければならない仕事、住民が自分の主体性と責任の中で、自らがやらなければならないもの、あるいは両方が共同し

## 意見発表者

- ・小中学校校長会長 長内 幸右衛門
- ・PTA代表 尾崎 キヌ子
- ・体育協会代表 古川 政幸
- ・婦人会代表 奈良 しづ江
- ・保育所母の会代表 三和 真智子
- ・老人クラブ代表 村元 富弥
- ・芸能保存会代表 秦 義雄
- ・青年団体代表 丸山 路正
- ・会 高松 隆三
- ・企画財政課長

てやらなければならないものなど、いろいろな問題がありま。国や県に要望すれば何んでも出来るといふ時代でもなくなっており、いろいろな問題をわたがいの立場を通して深くほり下げていきたいというこで計画したものです。

これまでは、全住民を対象にした村政懇談会を開催したことはあるが、それぞれの方々が地域の中で指導、活動してきたことを通して、各専門の分野で深くほり下げてみたというこで、教育、民生関係を第一回目に計画しました。



しています。

十月には、産業経済と建設土木関係を、十一月には、総務企画、地域開発、出かせぎ問題についての懇談会を予定しています。



### 施政方針

## 公約は まごころの政治で実現

私の政治姿勢は「まごころの政治」であり、市政運営にはまごころをもつてまいります。私の考えている「まごころの政治」とは、自分の欲望に對する自分自身とのたかひだと思つている。人間は、ど

### 生産倍増と 二百人雇用

「海と山と湖と」は、本村發展への「まくらことば」として使われ、村民との間にも心の了解ができてきているのではないだろうか。

「海と山と湖と」無限の宝庫を秘めた資源を村民といっしょに活用した時、やり方によつては他市町村にないような發展が期待され、本村は將來的にも過疎が先行して転落する村ではないと思つている。今こそ「無限の宝庫」を手中に収め、努力する必要がある。具体的な施策としては、①第一次産業の生産を倍増する。②二百人雇用の場を創出することを中心として、単に所得を

うしても楽な方向へ流れる。しかし、この道は険しいんだというのを自覚して、楽な道はあるけれども、より険しい道を通むのが自分の努めだと自分に言い聞かせ、自身の心とたたかう……。

私はこれまで、数多くの村を倍増することではなく、汗を流してみんなが働くことが、生産倍増につながり、達成できるものだと思う。二百人雇用の場を創出することが、ただに出かせき解消につながるものだと考える人がいると思うが、出かせきを

民と語り合い、いろいろなことを約束して参りました。今、何をしなければならぬかを、将来どうあるべきか、村民のみなさんに約束することによつて、責任を果たす義務が生れるわけですから、私が苦しくて、なまけよう

収入を求めての出かせきを悪いものだと思つてつけることはできない。私の考えている二百人雇用は、将来、市浦村を担う若い人たちが村内に定着させるが、そのねらいであり、若い人たちが村内で働ける場をみんなで創り出そうと

## 将来を担う 若人のために

いうことであります。

### 人間形成に ふるさと教育を

青少年の非行、教育問題が社会教育の中で論じられていたが「ふるさと教育」というものを忘れかけているのでは

とする時「こうしてはられない、みんなに約束したこと、果たさなければならぬんだ」という心が「まごころ」だと思つています。



みなさんに約束したことは私にできる限りの責任で実現させなければならぬと思つており、このことが私に課せられた最大の任務であるとも考えています。

私には「ふるさとをつくるんだ、ふるさは、けつして遠くにあつて見るものではない」ということ、私たちの生活の中に入れてこそ、私たちが立て派な人間形成に役立つのではないだろうか。



行政施策説明

# 教育はいま…

## 問題点とその課題



教育次長  
下山 時敏

教育委員会の仕事は、大きく分けて学校教育と社会教育に分けられる。

学校教育では、村内に在在する児童・生徒の教科、学習、道徳教育、体育指導を中心に、調和のとれた人間性豊かな児童・生徒の育成をめざしている。そして、地域に即応した創意と工夫をこらし、魅力あ

### 非行防止は 学校・家庭・地域が一体で



寮は廃止すべきだ…寄宿舎の存廃はいま村民の重大関心事—  
メモをとる学校関係者

る学校教育の推進を基本方針にかかげている。児童・生徒の教育にあたるのは、校長はじめ教師であるが、非常に指導熱心な方々ばかりで、熱意ある教育が行われています。しかし、中学校においては、いろいろの問題も多く、私の見るところでは、生徒ばかりの責任ではなく、ごく一部ですが、教師にも問題があるのではないかと思っている。

市浦中学校は昨年、生徒による刑事事件が発生し、新聞テレビをにぎわし、追い打ちをかけるように学校事務職員の不祥事など、考えられない



民生課長  
高橋 精一

### 衛生保健と福祉

民生課は、村民の健康、福祉を中心に間口の広い仕事を担当していますが、その中から、これまで実施してきた主要な事柄を述べます。

六月十七日に村民健康会議を開き、これまでの保健衛生活動の反省とこれから実施する重点事項を協議しました。

今年の健康会議では、「ガンの制圧と高血圧をくじしよう」をテーマに語りあい、日本人世の中からなくると日本人の平均寿命は、男で三年、女は二年位伸びるだろうともい

寄宿舎の存廃については、村民の関心事であるが、昨年実施したアンケート調査や部落懇談会の結果からして、「廃止すべきだ」という意見が圧倒的に多く、去る八月十一日の教育委員会でも、「寄宿舎廃止」を前提として、今後の教育行政をすすめていくという方針を、全員一致で議決しています。

したがって、教育委員会としては、村長、村議会議員など関係者からさらに意見を聞きながら、なるべく近い将来廃止のための基本方針を打ち出す考えであります。

### 寄宿舎廃止を前提に

それをもとに、住民のみならず方と協議し、最終決定をしたいと考えております。

### 意欲ある人間育成

社会教育の基本目標としては、「市浦村の伝統文化によってつちかわれた豊かな情操とすぐれた知性の涵養をはかり、美しい自然とともに地域の発展に資する意欲ある人間育成に努める」ことをかかげており、各地域で開催する家庭教育家級や、わかき学校などには積極的な参加をお願いします。





われ、保健衛生については、ガンの制圧対策が重要な仕事のひとつであることを確認していました。また、死因の二番目にある高血圧は、日常の食生活に影響があることから、塩分を控えた食生活を進めることになりました。

### クリーン作戦を継続

環境美化については、村内

### 意見発表

## 施設設備の充実を



小元 小長内幸右衛門校長

生涯教育と一連した学校教育の立場から話したいと思いますが、はじめにお礼を申し上げます。各学校では、修学旅行や現地学習、その他スポーツ大会など団体に速くへ出かけないといけないさまざまな学校行事があるわけですが、その際、村のバスを無償で運行してくださることで、

学校としては、時間的なこと、経費の節減ということからも大変助かっています。次に教育委員会の充実であるということは少し残念なところですが、教育長が不在である委員会の事務局の方々の適切なご指導とご助言ご協力をいただき、私たちは安心して学校運営ができることとありがたく思っております。さて、学校施設、設備の関係であります。市浦村の学校の施設設備は、他町村にくらべてみても、けつして劣ってはいません。むしろ優れている点が多いと思っております。

ただ、ある施設をもっと効果的に活用し、更に望ましい姿にしたいと考えています。村内各学校には広いグラウンドがありますが、この地方特有の強風により、砂じんが舞い上がったり、近隣の民家の方々に迷惑をかけているものと思います。また、雨降りは水がたまったりで、グラウンドを使用できない日が相当ありますので、子どもたちの体力づくりの立場からも、グラウンド整備をお願いします。

### グラウンドの整備

校舎・屋内体育館の修繕は早目に  
年数が経過しますと、どうしても腐蝕します。特に塩害

米飯給食の完全実施  
部活動をしている生徒の中には、おにぎりを持ってきている学校もあるようです。市浦村の児童生徒は、体力をつけていることが体力テストなどの調査で明らかになっています。今後学校給食を続けるという前提においても、学校給食には米飯給食を取り入れ

十三団体による海岸清掃を実施しているが、ゴミを投棄しない意識を高めるとともに、親子でクリーン作戦に参加し環境美化をとおして親子の心のふれあいを深めることにしました。医療保険（国民健康保険）は、住民の五〇％以上が加入しており、年間一億七千四百万円の前算で執行されています。また、直営診療所の予算

は九千五百万円、その他老人医療は一億一千三百万円、七十歳以上の老人、六十五歳以上のねたきり老人の医療保険などがあります。家庭奉仕員の派遣  
生活保護については、民生委員の協力を得ておりますが、現在七十五世帯の方々が対象になっております。

その他老人健康大学の開催や一人暮らしの老人に対しては、家庭奉仕員の派遣事業を実施しています。児童福祉については、常設保育所三ヶ所、太田地区に季節保育所が設置され、カギン対策として市内各地区に設置している児童館では、毎日二十人から二十五人の利用があります。

学校図書  
この地の子どもたちはどうして経験領域がせまく、中央の文化に接する機会も少ない。これは距離的・地理的条件などからいっても当然なことですが、学校では子どもたちを豊かに育てるためにはどうすればいいかということ。そこで、読書指導をとおして子どもたちの豊かな心をつくらんと取り組んでいるが、図書を購入する費用が学校予算でとることができず、父母負担によって図書が備えられている現状です。できれば、生徒に年一人一冊、新しい本を図書室に備えつけられるような措置をお願いします。





磯松 尾崎キヌ子さん

那大会や県単位の会議にはできるだけ多くのお母さんたちに出席していただきたいと願っているわけですが、食事代や旅費など自己負担が多いために出席者が少ない。お母



太田 奈良しづ江さん

## 婦人活動に 公用車を 利用させて

めまぐるしく多様化する生活環境の中で、私たち婦人がしっかりと行けなければならぬと、他市町村におく

れをとらないために一生けんめいがなっています。青少年の非行、校内暴力、家庭内暴力、嫁と姑の問題、親と子の話しあい、いかがわしい本の自動販売機の問題などたくさんありますが、私たちは同じ顔ぶれだけでなく、数多くの婦人に出席しているが、いつも困ることは車の検討していただく努力をしているが、これも問題の具体策を検討していただく努力をしていることです。

ミは、前日から出すというところはなくなりました。しかし、生ゴミは出した時からにおいがあるので、カラスや犬、猫などによって引き出される、時には道路の中央にまでさらばつていることがあります。場所を貸している人やその近くに住民たちにとっても迷惑なことでもあります。生ゴミは、ビニールの袋に入れ、更にふたつきのポリバケツに入れて収集場所に置くような行政指導はできないか。使用するポリバケツのふたには、使用者の名前を大きく書くようにすれば紛失するようなくことはないと思います。

### ポリバケツで 生ゴミの処理

各家庭の台所から出る生ゴミ

## 助成して欲しい 村外会議の参加費用

さんたちの教育向上の意味からしても多くの方々に参加していただきたいし、そのためには、バスの運行だとか参加費用の助成ができるような体制をつくってほしいと思います。

学習、研修会では特に不自由は感じていないと思う。ただ、スポーツ大会などに参加するたに練習をたくさんもできる施設がなく困っています。磯松地区にも体育施設の設置を検討していただきたい。



磯松 古川 政幸さん

## スポーツ振興に 「体育課」の新設を

本村の体育施設は計画的に建設され、使用できる私たち村民にとっては喜びで

### 専門高校で 後継者づくり

野球場、テニスコートなどの建設には、事前に体育協会の専門部や専門家と協議し、利用しやすいような施設づくりをしてほしいと思う。体育施設が整備されており、これから市浦村のスポーツ振興を考えると、行政組織の中で「体育課」の新設を検討してほしいと思います。

金木高等学校相内分校は今、創立三十周年を迎えるわけですが、市浦村の将来を担う若者、後継者を考えるならば、今の普通高校から専門高校にすることが特策ではないかと思っています。特に農林、畜産、建築など技術の向上をはかるような高校があれば、今までのとは違った村づくりができるのではないのでしょうか。

## 保育所の定員割れと保育料



相内 三和真智子さん

相内保育所では、九十以上の定員に対し、七八人入所している。こういう定員割れの現象は、十三、臨元保育所も同じです。市浦村の保育料は、国の基準より低い、村村もいろいろ

# 各部落に ゲートボール場を



磯松 富弥さん  
村元

ゲートボールは、老人にとつて、体力的にも精神的にも楽しめるスポーツとして普及されています。

昨年村から、村内各老人クラブにゲートボール用具一式贈られました。が、ゲートボールはどのでもやれるものではないまでも、財政的にも大変だと思いが各部落にゲートボール場の設置をお願いしたい。

いろいろな軽減措置をしていただいていますが、それでもなお保育料に不均衡があるように思われます。商業、農業などで相当額の所得がある家庭に対し、平均的サラリーマン家庭の方が上まわっているようですから公平な保育料が算定

できる方式を検討してほしいと思います。  
幼い子どもたちは、保育所で学ぶことがたくさんあります。ところが、保育料の負担が大きすぎるために、保育所へ入らせない家庭が相当数いるようです。

### 講習会などに積極的な参加を要望

老人学級も第八回を数えており、青少年の非行防止をかかげた講習会も聞いています。青少年の非行防止について、老人なりに心配をして、この種の講習会もしているが、こういう講習会には、老人ばかりではなく、生徒の親、婦人会などの積極的な参加を要望します。そのためには、各団体に呼びかけをするなど、



相内 肇 義雄さん

本村には、すぐれた民俗芸能が保存されています。若者に民俗芸能といっても若者が、はじまないと思いが、

現在、どうしても入所させなければならぬ共働き家庭にも不満の声がありますので、保育所の定員割れ解消のためにも、保育料の軽減策について検討していただきたいと思っています。

行政側の協力があれば、効果的だと思います。

### 家畜を育てて命の尊さを知る

臨元小学校では、以前からうさぎやニワトリを飼育しています。しかし、年々その数も少なくなつたようです。もし、エサ代が少ないために飼育する数が減つているのであれば、村が助成するなり、農家で収穫後の残菜利用についての指導をどうするか。

## すたれゆく 民俗芸能の保存

民俗芸能は祖先の文化遺産であり、将来とも未長く保存すべきものだと思っています。移りかわる文明の波は新しさを求めて押し寄せ、そのために素材ではあるが、心のふさぎ」ともいふべき郷土芸

能は、後継者の育成などにも問題があり、その保存がやぶまれています。保存会としても、それぞれの研究と相互の交流を深める村の無形文化財を永久に保存することに努めているが、広

## 教育の原点は 物よりも心

中学校を卒業して十四年経過したが、今の子どものたちは私たちのころとは違つて、PTA、教育関係者の一体となった協力で、一層充実した教育が行われていくような気が



太田 丸山 路正さん

その反面、物を与えるだけの教育が先行しているとも考

### 疑問を感じる村職員を人事異動

村づくりと安定した生活設計は、村民の和と連帯がないと成り立たないと思います。しかし、本村の行政運営の中で、村職員の仕事に疑問を感じています。村長が変わつての人事異動では、管理職まではよいとしても、末端までの人事異動は報復人事的にみられます。

く地域のみなさんの協力や行政側のご支援をいただきたい。もし、みなさんに心のふるさがあるならば、子どもや孫にもこれを体験させ、郷土芸能を通じて、家庭では親子の対話ができ、学校においても人と人とのつながりができ、この伝統は保存され、青少年の非行についても緩和されるのと思いが、



三重村長から意見発表者に説明



村長 三重 貢

意見発表者へ対して、三重  
資村長から次のような説明が  
ありました。

長内先生の意見には、  
学校の施設整備については  
将来を担う子どもたちの教育  
的な立場からもうぶん考  
えている。また魅力ある学校  
ありました。



みなさんの要望意見は真剣に受けとめ、まご  
ころの政治、で努力します…。行政側

経営については先生方の協力  
を求めながら、一日も早く問  
題解決に努めます。

尾崎さんの意見には、  
スポーツ施設の建設が急ピ  
ツチで進められているので、  
公民館や公民館前の広場を利  
用して、しばらくの間ガマン  
していただきます。

古川さんの意見には、  
専門意がありましたが、必  
ずしも専門高校がよい結果に  
つながらずは思っていない。  
当時から、どちらにでも活

用できるのは普通高校がよい  
ということから、意見も続け  
られていた。要望意見につい  
ては、尊重して今後の検討課  
題とします。

奈良さんの意見には、  
ゴミの収集場所を移してく  
れている人たちのことも忘れ  
て、いろいろの形でゴミが捨  
てられている。ポリバケツを  
買い与えてやる前に、まず自  
分たちで考えてみる必要があ  
り、行政はそれらにどう対応  
していくか一つの課題である。  
三和さんの意見には、  
保育所の運動会では、子ど  
もたちみんなが裸で、親とい  
つしよに走っていた。健康保  
育が定着しており、すばらし  
い姿を見ることができた。

保育料の不均衡については  
担当課長に説明させます。  
村元さんの意見には、  
自分たちが勉強するだけで  
なく、よみ講演にはみんまで  
参加しようとの提案ですが大  
変よいことだと思います。  
老人は、家の長、だじい  
立場で、子どもや孫たちを指  
導していただきます。

老人生きがいセンターに行  
った時、家にいよう、ここ  
にいた方がよっぽどよい、こ  
いう人たちが相当数ありまし  
た。そのお年寄りたちは、な

ぜ家よりセンターの方がよい  
か、疑問がある。お年寄り  
たちに奮起を促したい。  
奈良さんの意見には、  
ふるさと運動を進める地位  
にあるみなさんに感謝するこ  
とにも、今後みなさんのご  
協力ご指導をお願いします。  
丸山さんの意見には、  
昔は、この人でなければど  
きない、というような生き字  
引的な存在の人がいた。しか  
し、今はそういう時代ではな  
くない、いかなる場合にも、  
どんなことでも対応出来る  
人が要求されています。  
行政運営をスムーズに行う  
ために、人事異動はひんぱん  
に行うつもりです。

高橋精一民生課長、保育料の  
算定については、国で定めて  
いる基準を根拠に村独自の軽  
減措置をしているが、所得の  
握の仕方に関するものも  
と思う。サラリーマンなど派  
泉徴収されている人たちに  
ついては、所得も明確で、その  
まます計算されるので高く  
なると思っています。  
算定方法については、不公  
平のないように慎重に行い、  
制度のないものについては、課  
題として検討させていただきます。

私はこう思う  
懇談会で打開策  
さて、あなたは



十三 今泉 庄七さん

司会 村長と民生課長から説  
明がありました。特に発表  
者から再質問があれば受け  
、そのあと一般参加者の質問  
を受けます。  
民生関係では、ゴミの容器  
保育料、河川、海岸ゴミの不  
法投棄などが出来ていまし  
たが、大きく分けて、ゴミ容  
器と保育料の問題になると思



お互いが意見を出し合い理解を  
深めたいです

います。特に関係する団体以  
外から一般村民の参加を得て  
おりますので、意見を述べて  
ほしいと思います。  
今泉 道路の側溝のことです  
が、流れの悪いところがある  
のついていないところがある  
ので、速急に整備してほしい。  
司会 土木事務所の管轄であ  
るところからこれまでも要望  
はしているようです。流れの  
悪いところは直す、というこ  
とで担当課に伝えておきます。  
奈良さんから出されている  
ゴミ容器については、深刻な  
問題だと思います。人は、自  
分の家の前さききれいだった



「ゴミの収集場所も自分の家の近くでは困る。よその所だったら難成だ」ということであり、今後、トラブルの原因にもなりかねない。



相内 三和 孝治さん

三和、岩井のゴミ捨て場に行つてびっくりすること、あまりにもゴミの捨て方が乱雑であること。  
カラス等による鳥害、ねずみ、犬、猫などの公害対策も考えてほしい。

民みんなが参加すべきであり、クレーン作戦の際には、参加者名簿をつけることも必要ではないか。  
尾崎、臨元小学校の場合、夏休み期間中ラジオ体操を実施しているが、体操のあとにゴミ拾いをしてほしい。夏休み期間中だけでも、意識の高揚につながり、沿道のゴミ量も少なくなっている。  
民生課長 ゴミ処理について、できるだけ自家処理することで協力してほしい。  
週二回から週一回のゴミ取

集になりませんが、今までも実施してきたのだから今後もできると思っている。すのの村民のご協力をお願いします。  
奈良 生ゴミだけを対象にしたポリバケツの利用ですが、普通家庭ではそれほど回収集でじゅうぶん処理できると思う。燃えだけについては自家処理をしており、ポリバケツまで村の助成を得ることでは考えていない。自分たちのゴミは責任をもって処理する。ここでなければならぬ。  
司会、地域の婦人活動の重点事業として取り組んでほしい。

教育次長 魅力ある学校づくりのために、教育委員はじめ管内の校長会に協力を求めながら、担当者としても真剣に考えて問題解決に当たります。そのための予算もあると思うが、目的達成のためには少しぐらい無理をしても措置したい。

力します。  
高等学校の専門課程については、関係者をよく相談したいと思ひます。

米飯給食については、食糧事務所主催の会議でも、米の消費という立場からも米飯給食にすることで調査している。寄宿舎に関する意見が少な

高松 隆三さん  
司会  
奈良岡 ゴミを不法投棄している人が多。また、砂利、砂を運搬している車輛からこぼれ落ちているが目につく、運搬業者や地域の人たちに行政指導をしてほしい。  
司会、民生行政については、ゴミの収集回数の問題も、最大の焦点だと思う。  
ゴミの収集回数についても、今すぐというわけにはいかないにしても、来年度の事業にむけて一歩でも二歩でも前進するように取り組んでほしいと思ひます。



金木高校相内分校 須藤 安一教師

いので、もっと出してほしい。P.T.A.、婦人会から要望のあったバスの利用については社教の立場からも積極的に努

須藤 高等学校を大きく分けて普通課程と実業課程があります。本校は普通課程ですが設置者が村という高校は、



司会 高松 隆三さん

三和、鳥害などについても、単に「検討する」ことだけでなく、具体的な対策を示してほしい。  
古川、鳥害がひどく対策に困るというところであれば、地域の猟友会にでもお願いする方法もある。

県内で本校と小泊分校だけで設置者はすべて県知事です。よその学校は私立を除いて村から教育予算をいただいで学校経営をしているのは、県内では本校と小泊分校だけです。ただし、教諭の給料、旅費等は県からいただいでおりますが、

先ほど古川さんから実業課程のお話があり、いろいろと話題になっていますが、金木高等学校長とゆつくり話をした上で、実業高校にするためには、県へ陳情しなければなりません。思ひます。

奈良岡 ゴミを不法投棄している人が多い。また、砂利、砂を運搬している車輛からこぼれ落ちているが目につく、運搬業者や地域の人たちに行政指導をしてほしい。  
司会、民生行政については、ゴミの収集回数の問題も、最大の焦点だと思う。  
ゴミの収集回数についても、今すぐというわけにはいかないにしても、来年度の事業にむけて一歩でも二歩でも前進するように取り組んでほしいと思ひます。  
私、わが相内分校の授業内容や教育課程は、もう少し村の実体に合致した授業科目がないかと検討している一人です。実業高校にする前提としては、関係者とよく相談すべきかと思ひます。  
本校では、三年前から十三の砂山や相内地区に伝わる民俗を生徒に教えています。民俗芸能を保存する意味からも、続けたいと思ひます。よ、よろしくお願ひします。お母さんたちは、あまりにも働きすぎるのではないかと





### 学校給食はいま

子どもが朝起きたとき、両親が家でない。教育についてでは学校にあずけっぱなしである。教育専門の先生方でも家庭教育にまで及ぶはずがありません。

暖かいごはん、みそ汁を与えて学校に送り出す。そういう親子の糸のつながりと対話があったなら、非行問題は起きないのではないかと。親子の断絶が非行原因になっていると思うので、母親の大きな愛情で包んであげてほしい。

司会 子育ての教育の原点は、家庭教育にある。ということのようです。

寄宿舎問題に入る前に、も一つ整理しておかなければならないことがあります。

学校給食の問題で、パン食であれば、活力が出ないで運動部員がおにぎりを持参しているという現場からの訴えであります。これは今後の給食活動に大きな課題となるのではないかと。

私の知る範囲の学校給食は「米食よりパン食がよい」ということでスタートし、体位、体力の向上、偏食の是正

なども含めてパン食が取り入れられ、普及してきたと理解されています。そして米が余った時代になって米飯給食に変わってきたが、現実の問題として、運動部員がパン食では力が出ないというこに、これから市浦村の給食行政は、どう展開させるべきか、もう少し話し合いを深めたい。これに対し、村長はどういう考えを持っていますか。

村長 米食については、米が余ったから、米の消費拡大の一つの手段として、学校給食に取り入れたはずですが、米の消費拡大がなければ、休耕面積も大きくなるだろうし、休耕田をなるべく小さく押えるためには、学校の米飯給食も一つの方法であろう。学校側から提案されたように、児童生徒の体力、体位の関係で米食に切りかえるべきだということであれば、真剣に検討しなければならぬ。そのことが、将来を担う児童生徒の体力向上につながるのであれば、お金だけにこだわるわけにはいかないと思っています。

### パン食より米食に

三和(株) 相内小学校の場合もかつてはパン食であった。PTAの問題になったことは「パン食は頭がよくなったとか体力がよくなった」とか、無理にパン食にさせた経緯があつて、お母さんたちがさわぎ出して、当時食べたいたパンは、おいしくない。頭がよくなるはずのパンが生徒に食べられないのであれば、マインナスになる」ということで米飯給食になったわけです。



十三小 沢田 茂隆校長



破松 藤田イツコさん

暖かいごはんを食べさせるには、機械設備をしなければなりません。ごはんの方がよい」という子どもたちのアンケート調査の結果からしてぜひ米飯給食を要望します。

バレエボールや野球の練習をしているが、午後五時半ごろまでの練習になると腹が空いた、腹がすいた」とくりかえす状態です。したがって子どもの体力に応じて、おにぎりでも持参してほしい」と、おにぎり持参をすすめています。

現在、週三回来食にし、お弁当を持参されていますが、保健衛生上は特に問題はないが冬期間は、冷めたいお弁当になるので、ちよつとかわいそうな気がしています。

藤田 学校で孫がはじめられてるなり、先生方の指導をよろしくお願ひいたします。

司会 学校、家庭、地域が一体となって解決する方法が望ましいので、よろしくお願ひします。

給食問題については、もっと深く掘り下げたいと思いますが、時間がなので別な機会にしたいと思います。

次に寄宿舎の存続、廃止に

